BUSINESS REPORT

第8期 株主通信

2025年1月1日～2025年12月31日

FIG
Future Innovation Group

公式SNSアカウントでも情報発信中！

証券コード：4392

代表挨拶

代表取締役社長　**村井　雄司**

株主の皆さまには、平素よりFIGグループへの温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

前中期経営計画期間において、当社グループは将来の成長に向けた基盤づくりに取り組んでまいりました。

IoT分野では公共交通を中心とした事業を通じて安定した収益基盤の拡充を進めるとともに、ロボットやペイメント事業を将来の成長を支える重要分野と位置づけ、開発力や営業体制の強化などの事業投資を進めました。さらに、ロボット分野ではベンチャー企業への戦略投資も実施するなど、先行的な投資を重ねてきました。

この期間を通じて、技術や人財、顧客とのつながりといった無形資産が着実に蓄積され、当社グループの成長を支える土台が形成されたと確信しております。前中計は、次の成長段階へ進むための「基盤構築の3年間」であったと考えています。

また、事業ポートフォリオの最適化を進める中で、不採算事業や投資効率の低い一部事業の売却を進めるなど、投下資本の圧縮を通じて資本効率を重視した経営を実施してまいりました。

こうした取り組みの結果、売上高は13,318百万円(前年同期比10.8%増)、営業利益は834百万円(同129.3%増)、経常利益は826百万円(同110.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は783百万円(前年同期は1,412百万円の親会社株主に帰属する当期純損失)となりました。

このたび策定した新たな中期経営計画では、2026年12月期から2028年12月期までの3年間を対象に、「稼ぐ力の強化」を基本方針として掲げました。

当社グループが考える持続的な稼ぐ力の源泉は、社会課題に向き合う姿勢と、それを事業として実装してきた実行力にあります。技術資産・顧客資産・企業文化や風土といった無形資産を基盤に、成長性と収益性を両立する魅力ある事業の創出と拡大を図ってまいります。

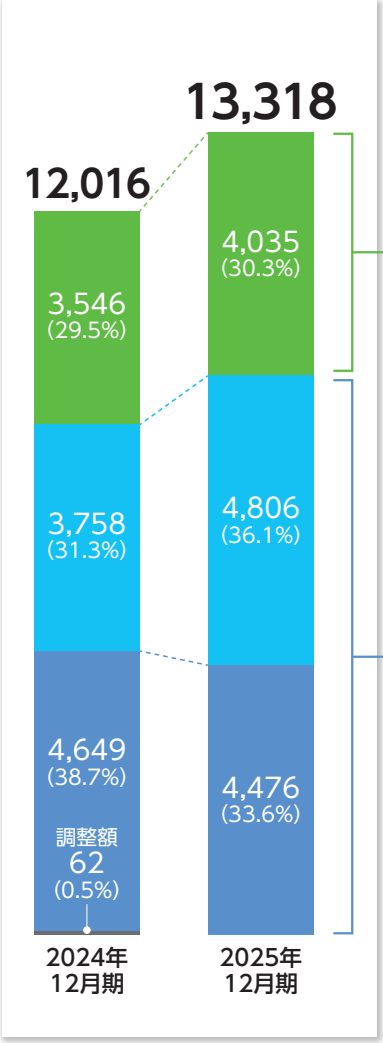
また、当社グループの事業の実態及び成長戦略をより明確にお伝えするため、報告セグメントの名称及び一部区分を変更いたしました。今後は「IoT・ペイメント」と「ロボット・オートメーション」を成長の両輪とし、これまでに築いてきた成長基盤を成果へと転換するフェーズに入ります。

当社グループが目指すのは、AI・データ・自動化を活用した「Smart Society」の実現です。人口減少や人手不足、効率化ニーズの高まりといった構造的な社会課題を、持続的成長の最大の機会と捉えています。

これからも、社員一人ひとりが挑戦と成長を実感できる企業グループとして、確かな技術と実行力を磨き続け、社会に必要とされる存在であり続けたいと考えております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

売上区分別実績(百万円)



マシーン

売上高 **4,035**百万円　営業利益 **410**百万円

マシーンセグメントにおいては、一部案件の受注時期が後ろ倒しとなり売上高の計上時期に影響が生じたものの、期末に向けて受注は回復基調となり、通期としては堅調な受注実績を確保いたしました。

また、半導体・自動車関連メーカー向けに、自動化ニーズを捉えた装置とロボットの統合ソリューション提案を推進しました。ロボット技術の高度化と営業体制強化への継続投資を通じて、中長期的な収益拡大につながる受注基盤の構築を進めております。

この結果、外部顧客への売上高は、4,035百万円(前年同期比13.8%増)、営業利益は410百万円(同27.1%増)となりました。

IoT

フロービジネス

売上高
4,806百万円

サブスク

売上高
4,476百万円

売上高 **9,282**百万円　営業利益 **1,527**百万円

モバイルクリエイトのIoTサービスは、引き続き成長基調で推移しました。特にペイメント事業については、公共交通分野への導入拡大に加えて自治体への導入が進むなど、単一分野依存から複数領域へとキャッシュレス決済基盤の横展開が進展しております。

一方で、ケイティーエスのホテルマルチメディアシステムにつきましては、苦戦が続き顧客基盤が縮小したため、現在はサービス内容及び営業体制の見直しを進め、立て直しを図っております。

この結果、外部顧客への売上高は、9,282百万円(前年同期比10.4%増)、営業利益は1,527百万円(同42.6%増)となりました。

TOPICS 1 ロボットメーカーとしての認知向上とロボットの事業領域拡大が着実に進む

当社グループではロボット事業を成長ドライバーの1つとして位置づけ、工場や倉庫向けのみならず、サービスロボットの展開にも注力しています。

最近の主な取り組み成果としては、最先端ロジック半導体の国産化を目指すラピダス社の半導体工場へ搬送ロボット(写真左)の導入が完了したほか、KDDI新本社の会議室フロアでドリンクを配送するサービスロボット(写真右)を導入することができました。また、同社とJR東日本によるTAKANAWA GATEWAY CITYでの回遊配布実証実験('25/7/25-7/31)にて、同サービスロボットが採用され、人流解析データと連動しながら商品のターゲット層が多く集まっているエリアに同ロボットが自動で移動し、商品を配布しました。

重要分野である搬送ロボットは、純国産メーカーとして認知度は確実に上がっており、新たな引き合いが増えています。またその延長線上として、サービスロボットの導入案件も確実に積み上がり、事業領域の拡大が進んできています。当社グループとしては引き続き、純国産の搬送ロボットを強みとして、国内を代表するロボットメーカーを目指してまいります。

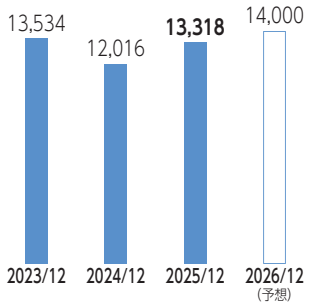
工場・倉庫向け
「WILL-FA」

サービスロボット
「WILL-SR」

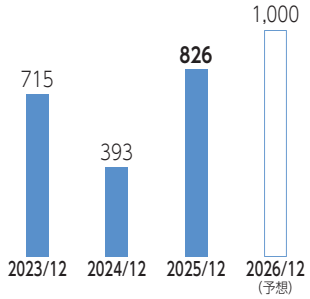
連結財務ハイライト（要約）

	2023／12	2024／12	2025／12
業績データ（百万円）			
売上高	13,534	12,016	13,318
経常利益	715	393	826
親会社株主に帰属する当期純利益または親会社株主に帰属する当期純損失（△）	210	△1,412	783
財務データ（百万円）			
総資産	22,835	15,895	15,640
流動資産	15,215	10,710	10,447
固定資産	7,620	5,184	5,192
負債	13,240	7,722	6,776
流動負債	6,645	5,080	4,269
固定負債	6,595	2,642	2,506
純資産	9,595	8,172	8,863
キャッシュ・フロー（百万円）			
営業活動によるキャッシュ・フロー	△578	3,160	507
投資活動によるキャッシュ・フロー	△838	2,918	△78
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,430	△5,674	△1,114
現金及び現金同等物の期末残高	2,202	2,612	1,889
1株当たりデータ（円）			
1株当たり純資産額	313.31	265.87	287.47
1株当たり当期純利益金額または1株当たり当期純損失金額（△）	6.97	△46.72	25.83

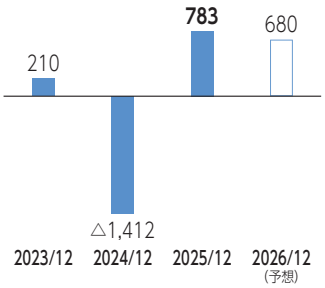
売上高（百万円）



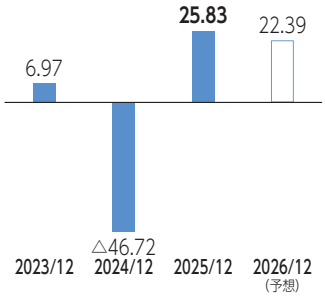
経常利益（百万円）



親会社株主に帰属する当期純利益または親会社株主に帰属する当期純損失（百万円）



1株当たり当期純利益金額または1株当たり当期純損失金額（円）



TOPICS 2 公共交通を起点に、ペイメント事業を次のステージへと拡大

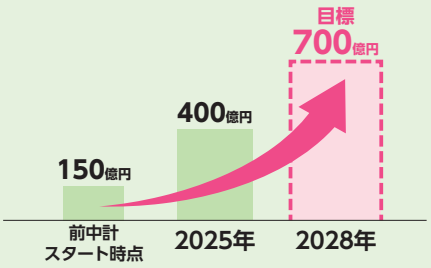
当社グループは、公共交通分野で培ったペイメント基盤を軸に、事業領域の拡大を進めています。

新中期経営計画（FY2026–FY2028）では、キャッシュレス取扱高700億円を目標に掲げ、2025年の400億円規模からさらなる成長を目指します。

政府はキャッシュレス決済比率80％を目標に掲げており、市場環境は中長期的な拡大が見込まれています。

当社はこの成長機会を確実に捉えるため、以下の3つの軸で事業を推進してまいります。

目標：キャッシュレス取扱高



※キャッシュレス取扱高には、決済に加え、ICカードを活用した運賃精算額を含む。

❶ 収益モデルの高度化

ハード販売に加え、決済センター利用料、決済手数料、保守など多様な収益源を組み合わせ、安定的かつ持続的な収益基盤を構築します。

❷ 公共交通分野のさらなる深耕

タクシー向け新サービスの展開や、バス重点地域での導入強化など、強みとする交通分野でのサービス拡充を進めます。

❸ 新分野への拡大（自治体・ホテル・他業種）

公共交通で培った技術・ノウハウを活かし、自治体向けキャッシュレス、ホテル決済、他業種への展開を加速し、地域経済のデジタル化にも貢献してまいります。

当社グループではペイメントを成長事業の1つの柱と位置づけ、“FIGペイメントプラットフォーム”の一層の強化と拡大に努めてまいります。

ウェブサイトのご案内

IR情報やサステナビリティ情報のほか、会社紹介インフォグラフィックや日々の活動をご紹介する「PICK UP！」ページなどのコンテンツを公開しています。ぜひご覧ください。

https://www.figinc.jp/

会社概要 (2025年12月31日現在)

商号	FIG株式会社 (英文)Future Innovation Group, Inc.
本社	〒870-0823　大分市東大道二丁目5番60号 TEL.097-576-8730(大代表)
代表者	代表取締役社長　村井　雄司
会社設立	2018年7月2日
資本金	2,074百万円
事業内容	子会社等の経営管理及びそれに付帯または関連する業務
グループの事業セグメント	IoT事業、マシーン事業
グループ従業員数	668名(連結)
上場市場	東京証券取引所プライム市場 福岡証券取引所本則市場
グループ会社	モバイルクリエイト株式会社 REALIZE株式会社 株式会社ケイティーエス 株式会社プライムキャスト 株式会社CAOS 沖縄モバイルクリエイト株式会社 株式会社トラン 株式会社M.R.L Mobile Create USA, Inc. InfoTrack Telematics Pte. Ltd. InfoTrack Telematics Pvt. Ltd. ciRobotics株式会社 THAI K.T.R Co.,Ltd.

役員 (2026年3月30日現在)

代表取締役社長	村井雄司	取締役(常勤監査等委員)	後藤哲憲
取締役	岐部和久	取締役(監査等委員)	大呂紗智子
取締役	阿知波孝典	取締役(監査等委員)	木下佳明
取締役	奥山由実子		

株式の状況 (2025年12月31日現在)

発行可能株式総数	70,000,000株
発行済株式の総数	31,593,115株
株主数	17,884名

大株主 (2025年12月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
フューチャー株式会社	7,189	23.66
FIG従業員持株会	873	2.87
株式会社大分銀行	487	1.60
第一交通産業株式会社	400	1.31
青木義行	400	1.31
岩瀬英一郎	373	1.23
MACQUARIE BANK LIMITED DBU AC	266	0.87
山本治之	248	0.81
株式会社ゼンリンデータコム	228	0.75
村井雄司	206	0.67

(注) 上記の持株数は千株未満を切り捨てて記載しております。
持株比率は自己株式1,218千株を控除して計算しております。

株式分布状況 (2025年12月31日現在)

所有者別所有株式数割合

■金融機関 1.60%　■金融商品取引業者 0.38%　■その他の法人 26.47%
■外国法人等 1.38%　■個人・その他 70.17%

所有数別株主数割合

■1単元未満 0.07%　■1単元以上 4.57%　■5単元以上 3.31%
■10単元以上 22.34%　■50単元以上 14.00%　■100単元以上 9.76%
■500単元以上 4.24%　■1,000単元以上 12.33%　■5,000単元以上 29.38%

株主メモ

上場市場	東京証券取引所プライム市場 福岡証券取引所本則市場
証券コード	4392
1単元の株式数	100株
事業年度	毎年1月1日から12月31日までの1年
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
基準日	12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社

同連絡先	三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 東京都杉並区和泉二丁目８番４号 TEL：0120-782-031（通話料無料）
公告掲載方法	電子公告により行う。 ただし電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行う。 **公告掲載URL**　https://www.figinc.jp/

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。
速やかにお取引の証券会社等へお届出ください。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められた通り、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

[主な支払調書]
◉配当金に関する支払調書
◉単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

FIG株式会社
本社　〒870-0823　大分市東大道二丁目5番60号　TEL.097-576-8730(大代表)

VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス 紙｜責任ある森林管理を支えています FSC® C022915
UD FONT